

潟上市議会報告会実施要領に基づく報告事項に対する回答

防災無線について

- ・防災行政無線が聞こえにくい。何を言っているのか分からない。

(回答) 防災無線は日頃の定時放送及び行政放送時に難聴に対しての情報収集を行い、難聴地域の屋外拡声子局のスピーカーの方向調整を実施し難聴地域の解消に努めておりますので、具体的な難聴箇所の特定のため情報提供をお願いします。

- ・放送内容が多岐にわたるので、防災関連中心に選別も必要だ。
- ・防災に限らずいろいろ放送されているが、いざというときそれでは聞かないのでは。

(回答) 防災行政無線としての役割として市民の方々に情報提供を実施しておりますが、災害情報及び緊急放送時はサイレンの吹鳴を入れるなど一般放送とは差別化を図り情報が的確に伝達されるよう工夫します。

防災対策について

- ・津波避難タワーはどうなっているのか。

(回答) 津波浸水域の自治会の方々と津波避難タワーの先進地視察を予定しており、視察後、避難タワーのあり方や必要性をはじめ、指定しております津波避難施設への避難経路等を総合的に地域と協議し、検討してまいります。

- ・ 災害時、田屋集落から元木山へ行く避難通路2か所を整備してほしい。

(回答) 田屋集落においては地震災害及び風水害等の災害時は山間部への避難ではなく集落に隣接する羽城中学校への避難をお願いします。今後避難経路等地域と協議します。

- ・ 飯塚新道地区で急傾斜崩壊危険地域があり、現地調査し対応してほしい。

(回答) 発言者と現地を確認しました。一部に僅かな崩落が見られましたがすぐに崩壊する可能性は低く、又付近に民家もないことから「経過観察」とすることで了解を得ました。また、今後崩落等が発生した場合には速やかに市へ連絡をいただくこととしました。

新庁舎建設について

- ・ 天王庁舎がなくなった後の二田地域の疲弊が心配だ。

(回答) 新庁舎建設については、市内の各地区（地域）から、時間的・距離的にバランスの最も優れた位置へ行政機能を一箇所に集中することで、市民の利便性の向上及び事務の効率化等を図ることとし、建設予定地への建設を進めているところです。

また、市民の利便性に配慮し、現庁舎またはその周辺に出先機関を配置し、戸籍や住民票等の発行、各種提出物の受付など、簡易的な事務については従来どおり各地区で対応できるよう検討を進めております。

二田地区については、公民館や図書館、総合体育館などの公共施設のほか、地域の子育ての核となる幼稚園、保育園、小中学校がありますので、庁舎移転後もこれら公共施設に既存商店や金融機関等を含めたまちづくりを進めるよう努力してまいります。

- ・ 庁舎建設を早く進めるべきだ。

(回答) 現在、進めております実施設計については 9 月末までにとりまとめの予定で、平成 27 年 3 月の完成を目指して事業を進めております。

今後ともさらなる情報の発信と説明責任を果たしながら、一日も早い完成を目指して新庁舎建設事業に取り組んで参ります。

マイタウンバスについて

- ・ マイタウンバスの乗車率、バスの小型化について検討されているか。(天王地区)

(回答) 天王地区を運行するマイタウンバスは中型バス(58人乗り)で運行しており、車両については、平成15年度に購入したものであります。バス購入の前年度にあたる平成14年度の天王地区のバス利用者数は年間19,298人でありましたが、利用者は年々減少傾向にあり、平成24年度は12,864人で約33パーセントの減となっております。

しかし、天王地区特に湖岸部の場合、冬期間の利用者が非常に多く、今年の1月、2月では、1回の運行で最高25人以上が乗車する場合もありました。例えばこれを29人乗りの小型バスに変更した場合、座席が15人分程度しかなく、立って乗車しなければならない場合も出て参ります。

バス運行に係る経費を考えると、約7割が人件費となっているため、車両の大きさによる経費の増減は、思ったほど大きくないのが実情であります。

しかしながら現在では環境・燃費性能に優れた小型バス車両もあります。市所有の中型バスは購入後10年となり老朽化してきましたが、まだ利用可能な状況です。バス車両の更新の際には小型バスへの移行も検討しておりますのでご理解をお願いします。

- ・ マイタウンバスに小型 9 人乗りクラスの車両の活用を視野に入れるなど、先を見据えた路線対策が必要だ。新庁舎への 3 方からの動線も必要だ。(出戸地区)

(回答) 市では、現在、市内全域的な公共交通の見直し作業を進めており、交通空白地域・不便地域の解消や新庁舎を起点とした新たな運行形態を検討しております。また現在運行しているマイタウンバスにおいては乗降調査を行い、利用状況を鑑みながら運行形態の見直し、車両については環境・燃費性能に優れた小型バス車両もあることから、小型バスへの移行も考慮しながら検討しております。

道路関係について

- ・ 大崎地域から庁舎建設予定地域への道路のアクセスが悪い。改善してもらいたい。

(回答) 潟上市幹線道路網計画(案)では、大崎地区からは農免道路を通り工業団地に抜け、国道 101 号線に至る道路を計画しています。整備には長い年月が掛かることから計画的に整備していきます。

- ・ 側溝泥上げに若い人の参加がなく年配者だけでは立ちゆかない。道路は市の管轄だと思うが市で泥上げをしてもらえないか。

(回答) 本市では、市民の皆さまとの協働で、生活環境の清潔保持と水害発生を抑えるために、自治会・町内会の皆さまに側溝清掃をお願いしています。ご指摘のとおり、側溝の蓋上げは大変な重労働であり、市としてもできるだけ支援をさせていただきたいと考えており、簡単にコンクリートの蓋を上げることができる蓋上げ機の貸し出しや土砂等を入れるエコ土嚢の支給、集積された土嚢の回収などを実施しています。地域の快適な生活環境を維持す

るには、市民の皆さまのご協力が欠かせないと考えています。今後も、地域環境の保全・環境美化の推進に努めてまいりますので、引き続き、ご協力をお願いいたします。

- ・ 通学路の安全対策について、特に朝の出戸新町踏切の混雑は危険な状態だ。片側歩道でも設置できないものか。

(回答) 踏切については、昨年実施した通学路緊急合同点検において出戸小学校からは通学路の危険箇所として届け出はありませんでしたが、踏切に歩道を設置することは早急な対応が難しいことから、JRに対し踏切手前の敷地(2か所)に児童生徒が一時的に退避できるスペースを確保するための協議をしております。

- ・ 大豊小学校のケヤキの根が歩道まで伸び歩行に危険である。早急な対応を。

(回答) 5月30日に着手し、7月31日を目途に完成予定です。

その他

- ・ 集団検診案内の住所に誤りがある。(二田地区)

(回答) 封筒住所は、住民基本台帳と連動しているため間違いはないですが、行政区コード(町内会コード)の間違いにより、他町内に紛れ込んでしまうのが原因と考えられます。二田2区は今年29軒分が行政区違いで戻ってきました。このようなことが起こらないよう前年度の戻り分は必ずチェックをするなど、対策を講じているものの、結果として毎年発生しているため、保健会に行く検診説明会では、その辺の事情もお話しをし協力をいただいているところです。来年度以降の対策として、

① 今年度各町内から行政区違いで戻ってきた分（全体で 135 軒）は、市民課戸籍担当から確実に訂正をしてもらいます。

② 来年の検診前に、行政区違いが多くみられた保健会から、町内名簿を提出して頂けるよう協力の依頼をします。

・ 空き家対策はどうなっているのか。安全面から撤去が必要な家屋もあるが。

(回答) 空き家対策は現地調査を行い自治会等地域と情報を共有しながら、所有者への連絡など対応しますので自治会等を通じての情報提供をお願いします。

・ 図書館の新刊本は利用率向上のためにも宣伝が必要だ。

(回答) 毎月、図書館で新たに購入している本については、本館・分館に新刊コーナーや新刊ガイドを設け周知を行っています。また、全ての図書館蔵書や新刊本が閲覧できるよう、広報かたがみにホームページアドレスを掲載して、どこからでもアクセスし閲覧出来るよう周知徹底に努めています。

・ 国民文化祭の内容は。

(回答) 平成 26 年度に秋田県で開催される国民文化祭は、平成 26 年 10 月 4 日(土)から 11 月 3 日(月・祝)までの 1 ヶ月間を開催期間としています。

当市においては、中村征夫フォトギャラリーブルーホールにおいて、「自然と暮らす・日本の原風景写真コンテスト」を開催します。

また、平成 26 年 5 月 25 日(日)には、石川理紀之助翁ゆかりの地「山田草木谷」において撮影会を開催し、その作品のフォトコンテストを行います。

平成 26 年 10 月 12 日(日)に、入賞者の表彰式、選評、記念トークショーを行うこととしております。

7月11日に、国の国文祭実行委員会が開催予定であり、本会議において、本市計画が承認された後、広報等で内容等の周知を図って参ります。

- ・ 雇用や経済活性化のために潟上発北限のフグカレーを推進したらどうか、これこそ6次産業化だ。

(回答) フグカレーについては関連企業等と協議をして参ります。

農業の6次産業化については本市の政策の一つとしてとらえており、今後十分に研究・検討を重ね、地域の特色を生かした農産物の生産振興、特産物や新サービスの開発、販路拡大などを推進します。

- ・ 追分自治会館の指定管理者を早期に決めてほしい。

(回答) 追分自治会館の外構を含めた工事の完成が3月でした。指定管理へ移行するため利用状況について調査しているところですが、10月から指定管理ができるよう議決準備を進めておりますのでよろしくお願ひします。

- ・ 元木山のかやぶき民俗資料館は、景観上の問題もあるが危険である。解体保存の報道もあるが、活用も含め緊急に対処すべきである。

(回答) 元木山公園に所在する歴史民俗資料館は、潟上市の指定有形文化財であります。荒廃による危険性及び景観への悪影響を考慮し、廃止・解体や保存・復元等の全ての可能性について検討しています。今後、潟上市文化財保護審議会の意見を尊重しながら検討することとしております。

- ・ 子宮頸癌ワクチンに副作用があると言うがどうか。

(回答) 現在、副作用の検証のため、積極的勧奨を差し控えるという措置がとられています。これはワクチンとの因果関係は不明としながらも、「持続的で

広範囲に及ぶ疼痛」がワクチン接種後に特異的にみられたことから検証するもので、副作用かどうかは明らかになるまで一時的にとられる措置であります。